



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス

コード番号 4761 URL <http://www.kcs.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岸川 和久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長

(氏名) 山本 修嗣

TEL 078-391-6571

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,393	△0.4	100	317.4	125	70.6	125	646.4
23年3月期第2四半期	9,427	△2.6	24	△82.2	73	△57.0	16	△82.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 85百万円 (140.7%) 23年3月期第2四半期 35百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	11.23	—
23年3月期第2四半期	1.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,827	13,861	77.8
23年3月期	18,711	13,843	74.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,861百万円 23年3月期 13,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	4.4	600	22.7	650	13.3	435	44.0	38.84

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	11,200,000 株	23年3月期	11,200,000 株
24年3月期2Q	494 株	23年3月期	494 株
24年3月期2Q	11,199,506 株	23年3月期2Q	11,199,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び連結子会社（以下、「当企業集団」という。）の当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、金融関連部門及びERPソリューション業務が好調だった一方、一部の大型案件の売上時期が第3四半期以降となったことに加えて、競争激化によりシステム機器販売が伸び悩んだことから、売上高は9,393百万円と前年同四半期比34百万円（0.4%）の減収となりました。

一方、損益面につきましては、原価率の改善を主因として、営業利益は100百万円と前年同四半期比76百万円（317.4%）の増益、経常利益も125百万円と前年同四半期比52百万円（70.6%）の増益となりました。また、固定資産の譲渡(*1)に伴い、特別損失が発生した一方で税効果会計の適用による税金費用減少の影響が大きく、四半期純利益は125百万円と前年同四半期比108百万円（646.4%）の増益となりました。

*1 当社は、兵庫県姫路市に保有する「さくらケーシーエス姫路ビル」を平成23年9月末に売却しております。この売却に伴う固定資産除売却損130百万円を、特別損失に計上しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 金融関連部門

三井住友フィナンシャルグループ向け取引が好調だったことから、売上高は2,580百万円と前年同四半期比115百万円（4.7%）の増収となりました。

② 公共関連部門

大手ベンダー向けシステム構築業務は堅調に推移しましたが、競争入札の激化により自治体向けのシステム機器販売が減少したことなどから、売上高は2,121百万円と前年同四半期比165百万円（7.2%）の減収となりました。

③ 産業関連部門

一般民需向けの直接取引が情報化投資抑制の影響により減少しましたが、大手ベンダー向けシステム構築業務、及び、ERPソリューション業務が増加したことから、売上高は4,691百万円と前年同四半期比15百万円（0.3%）の増収となりました。

当企業集団の事業につきましては、システムの納入が第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に集中する傾向があり、売上高が第1四半期（4～6月）及び第3四半期（10～12月）において減少し、第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に増加するパターンとなり、四半期毎・半期毎の経営成績が変動いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比883百万円減少して17,827百万円に、一方、純資産は前連結会計年度末比18百万円増加して13,861百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.8%増加して77.8%となっております。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比457百万円増加して5,658百万円となりました。その内訳は、営業活動によるキャッシュ・フローが817百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローが114百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローが245百万円のマイナスであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月18日に発表いたしました「業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」において修正を行っており、同資料に記載しております業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,201	2,658
受取手形及び売掛金	5,796	4,019
有価証券	4,000	3,000
商品	55	102
仕掛品	317	652
貯蔵品	25	81
その他	766	1,010
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	12,161	11,524
固定資産		
有形固定資産	3,703	3,444
無形固定資産	526	481
投資その他の資産		
投資有価証券	1,378	1,314
その他	951	1,073
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	2,319	2,377
固定資産合計	6,549	6,303
資産合計	18,711	17,827
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,879	1,216
未払法人税等	122	30
賞与引当金	671	638
受注損失引当金	—	18
その他	925	854
流動負債合計	3,599	2,758
固定負債		
退職給付引当金	502	388
役員退職慰労引当金	113	80
資産除去債務	10	10
その他	642	728
固定負債合計	1,268	1,207
負債合計	4,867	3,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	9,473	9,531
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,756	13,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	46
その他の包括利益累計額合計	86	46
純資産合計	13,843	13,861
負債純資産合計	18,711	17,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,427	9,393
売上原価	7,732	7,598
売上総利益	1,694	1,795
販売費及び一般管理費	1,670	1,694
営業利益	24	100
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	15	17
不動産賃貸料	36	36
保険解約返戻金	15	—
雑収入	17	9
営業外収益合計	90	66
営業外費用		
支払利息	17	17
不動産賃貸費用	20	19
雑損失	2	4
営業外費用合計	40	41
経常利益	73	125
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	164
減損損失	—	1
投資有価証券評価損	0	0
事務所移転費用	27	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6	—
特別損失合計	33	165
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	41	△39
法人税等	24	△165
少数株主損益調整前四半期純利益	16	125
四半期純利益	16	125

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16	125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	△40
その他の包括利益合計	18	△40
四半期包括利益	35	85
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35	85

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	41	△39
減価償却費	375	386
減損損失	—	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	14	△33
受注損失引当金の増減額(△は減少)	29	18
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△112	△113
受取利息及び受取配当金	△21	△20
支払利息	17	17
固定資産除売却損益(△は益)	—	164
投資有価証券評価損益(△は益)	0	0
移転費用	27	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,281	1,776
たな卸資産の増減額(△は増加)	△268	△437
仕入債務の増減額(△は減少)	△769	△663
その他	48	△132
小計	668	924
利息及び配当金の受取額	20	20
利息の支払額	△17	△17
移転費用の支払額	△20	—
法人税等の支払額	△17	△111
法人税等の還付額	133	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	767	817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110	△53
有形固定資産の売却による収入	—	100
無形固定資産の取得による支出	△35	△53
投資有価証券の取得による支出	△5	△3
投資有価証券の売却による収入	—	0
その他の支出	△161	△107
その他の収入	84	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△229	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△196	△178
配当金の支払額	△66	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263	△245
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	275	457
現金及び現金同等物の期首残高	5,985	5,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,260	5,658

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,464	2,287	4,675	9,427	—	9,427	—	9,427
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28	9	344	382	—	382	△382	—
計	2,493	2,297	5,020	9,810	—	9,810	△382	9,427
セグメント利益	319	266	450	1,035	—	1,035	△1,011	24

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,011百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,580	2,121	4,691	9,393	—	9,393	—	9,393
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	34	375	416	—	416	△416	—
計	2,585	2,156	5,067	9,809	—	9,809	△416	9,393
セグメント利益	460	233	400	1,094	—	1,094	△994	100

(注) 1 セグメント利益の調整額△994万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。